ATAPI DVD-ROM ドライブ

DVD-ROM16FB

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- 本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  A:フロッピーディスクドライブ
  C:ハードディスクドライブ
- 本書では、本製品を「DVDドライブ」と表記しています。
- 文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 文中< >で囲んだ名称は、キーボード上のキーを表しています。(例)<Enter>
- CD-ROM、音楽CD、CD-R/RWメディアなどを合わせて「CD」と表記しています。
- DVD-ROMメディアとCDを合わせて「メディア」と表記しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠ 感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：⃠ 分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：● プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特にCPUやVGAチップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業することをおすすめします。

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

強制

電源ケーブルは、完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

強制

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに電源スイッチをOFFにしてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口やトレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。

レーザー光が目に入ると、視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠注意

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

各接続コネクタのチリ・ほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

DVD-ROMメディア、CD-ROM、音楽CD（以後メディアと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- メディアの表面に手を触れないでください。
- 直射日光を当てないでください。
- ベンジン、シンナー等の薬品を使ってお手入れをしないでください。
- メディアの汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布でふき取ってください。必ず、中心から外側へと向かって軽く拭き取ってください。
- メディアの表面を傷つけたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- ほこりなどにさらさないでください。
- メディアの両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。

トレーに、メディア以外のものを載せないでください。

故障や火災の原因になります。

トレーに手を入れ、挟まないように注意してください。

けがの恐れがあります。

トレーを出したまま放置しないでください。

内部にほこりが入り込んで、故障の原因になります。

ひび割れや変形、補修したメディアは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
　故障の原因となります。

・振動が発生するところ
　けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
　転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
　故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ
　故障や変形の原因となります。

・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　故障や変形の原因となります。

・漏電、漏水の危険があるところ
　故障や感電の原因となります。

・ほこりの多いところ
　故障の原因となります。

メディアを入れたまま移動しないでください。

本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態での移動はしないでください。

メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は必ずメディアを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等にほこりやたばこの煙などが付着し、メディアの再生が正常にできなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

縦置きで使用する場合は、必ずトレーのツメでメディアを固定してください。

ツメで固定しないと、メディアが外れて、故障や破損の原因となります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 ご使用になる前に

DVDドライブをご使用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● 多彩なフォーマット形式に対応

DVDドライブの対応するメディアは次のとおりです。

・DVD ... DVD-ROM(片面1層、片面2層、両面1層)
DVD-VIDEO(片面1層、片面2層、両面1層)
DVD-RAM TYPE2片面2.6GB/4.7GB(*1)、
DVD-R3.95GB(*2)

・CD ..... CD-ROM Mode1
CD-ROM XA Mode2(Form1、Form2)
CD-R/RW(*2)、音楽CD(CD-DA)、
CD Extra、CD TEXT(*3)、
Photo CD(*3)、Video CD

*1 ディスクが取り出し可能なもの。取り出しかたはDVD-RAMメディアのマニュアルを参照してください。また、8cmDVD-RAMには対応していません。

*2 書き込みはできません(本製品は読み出し専用です)。

*3 再生には、対応したソフトウェアが必要です。

● ソフトウェアDVDプレーヤ「WinDVD2000」付属

DVD-VIDEO、Video CD、MPEG2、MPEG1、MP3を再生できます。

● 高速なデータの読み出しが可能

DVD-ROM 最大22160KB/sec
(16倍速再生時)
CD-ROM 最大7200KB/sec
(48倍速再生時)

● オーディオ出力端子を装備

オーディオ機器を接続した弊社製サウンドボードSDP-AU30やSRI-M97などと接続することで、オーディオ機器から音声を出力できます。

※ 弊社製サウンドボードSRI-PJ/P/F、弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1と接続するには、別売の弊社製サウンドボード用オーディオケーブルが必要です。弊社備品販売窓口にてご購入ください。【P33】

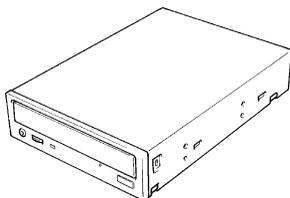
パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●DVDドライブ 1台

●オーディオケーブル(SB互換) 1本

●取り付けネジ 4本

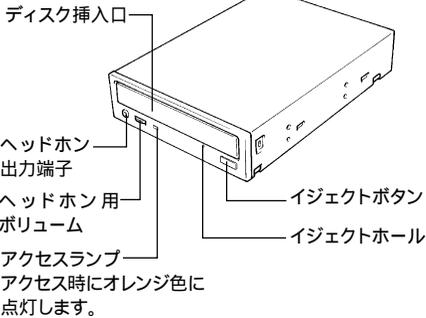
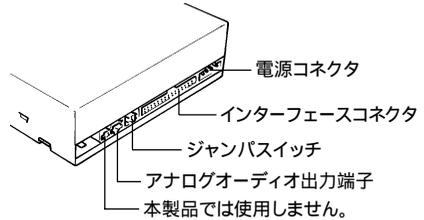
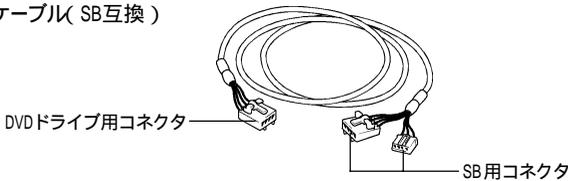
●DVD-ROM16FBドライバディスク
(フロッピーディスク) 1枚

●WinDVD2000(CD-ROM) 1枚

●ユーザーズマニュアル(本書) 1冊

●保証書、ユーザー登録はがき 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

作業のながれ

次の手順で作業を進めてください。

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

DVDドライブを取り付ける環境に合わせて、DVDドライブのジャンパスイッチを設定する【P9】

▼

パソコンにDVDドライブを取り付ける
・タワー型パソコンの場合【P12】
・デスクトップ型パソコンの場合【P13】

▼

サウンドボードに音声を出力するときは、DVDドライブとサウンドボードを接続する【P16】

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする
※プラグアンドプレイにより、この時点でDVD/CD-ROMドライブとして使用できます。

▼

DVD-VIDEOを再生したい方は、付属のソフトウェア「WinDVD2000」をインストールする【P20】

2 取り付け

DVD ドライブをパソコンに接続する手順を説明しています。

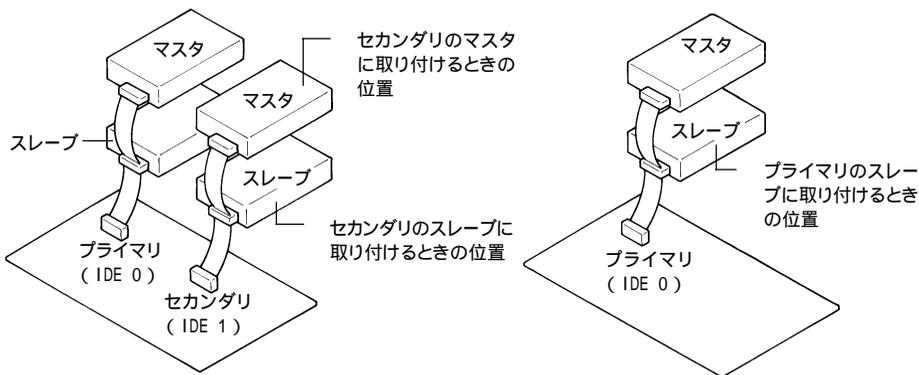
取り付けの前に

注意事項

- DVDドライブおよびパソコンは精密機器です。作業を始める前に、必ず巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお読みください」を参照してください。
- パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や設定方法は、各機器のマニュアルを参照してください。
- 作業を始める前に、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクやMOディスク）にバックアップしてください。
- 作業をするときは、必ずパソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにしてください。
- パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。
- 次の物を用意してください。
  - ・DVDドライブ本体および付属品
  - ・パソコンと周辺機器のマニュアル
  - ・ドライバなどの工具類

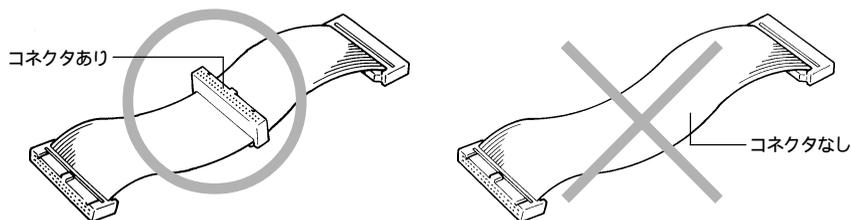
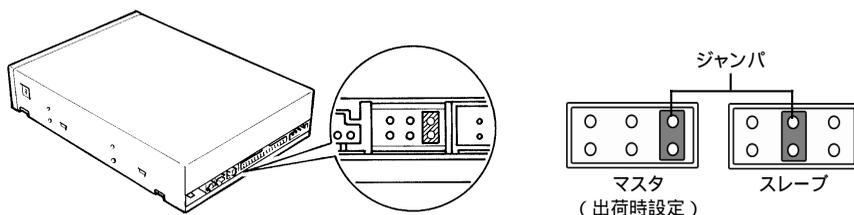
ジャンパスイッチの設定

取り付ける位置

通常、プライマリのマスタにはハードディスクが接続されています。そのため、DVDドライブは下図①〜③のいずれかの位置に取り付けます。

次のページへ続く

フラットケーブルの種類

DVDドライブをスレーブとして接続する場合は、下図①のような形状のフラットケーブルが必要です。

パソコン本体のフラットケーブルが下図②のような形状の場合や、パソコン本体にフラットケーブルが付属していない場合は、弊社製IDE接続ケーブルDKV-I(別売)を使用してください。

接続のしかたとジャンパスイッチの設定

※ DOS上でDVDドライブを使用するとき(WindowsMe/98/95を再セットアップするときなど)は、必ずマスタとして接続してください。

使用環境		プライマリ(IDE 0)		セカンダリ(IDE 1)		DVDドライブのジャンパスイッチ設定
他のIDE機器	DVDドライブ	マスタ	スレーブ	マスタ	スレーブ	
1台	1台		○	−	−	スレーブ
			−	○	−	マスタ
2台	1台		○		−	スレーブ
				○	−	マスタ
			−		○	スレーブ
3台	1台				○	スレーブ

「○」DVDドライブが接続されている　　(網掛け)他のIDE機器が接続されている

「−」IDE機器は接続されていない

⚠注意
- **通常、プライマリのマスタにはハードディスクを接続します。DVDドライブ1台だけを接続して使用することはできません。**
- **セカンダリにDVDドライブ1台だけを接続するときは、必ずマスタに設定してください(出荷時はマスタに設定されています)。**
- **DVDドライブはハードディスクが接続されていないフラットケーブルに接続することをおすすめします。DVDドライブとハードディスクを同じフラットケーブルに接続すると、パソコンの動作が不安定になることがあります。**

WindowsNT4.0で使用する場合の制限事項

● 事前に、WindowsNT4.0の「Service Pack 4」以降を必ずインストールしてください。
Service Packに関しては、マイクロソフト社までお問い合わせください。

● Intel社製チップセットを搭載したマザーボードでのみ動作を保証いたします。
他社製のチップセットを搭載したマザーボードでの動作は保証いたしません。あらかじめご了承ください。

● グラフィックボードのハードウェア動き補償はサポートしておりません。あらかじめご了承ください。

● 使用しているグラフィックボードのドライバによっては、ハードウェアオーバーレイに対応していないことがあるため、動作しないことがあります。
弊社製グラフィックボードはハードウェアオーバーレイに対応しています。

PC98-NXシリーズでの使用

CyberTrio-NXがインストールされている機種（※）では、CyberTrio-NXをアドバンストモード以外のモードで使用していると、DMA転送の設定ができないことがあります。DMA転送の設定【P18】を行う前に、必ずアドバンストモードに変更してください。

※ CyberTrio-NXがインストールされていると、タスクバーにインジケータが表示されます。

● CyberTrio-NXのモードの確認方法は、タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータの色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

● 再起動後もアドバンストモードになるように、CyberTrio-NXを設定を変更します。

① [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択します。アドバンストモードに切り替わります。

② [ｽﾀｰﾄ]－[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX ｾｯﾄｱｯﾌﾟ]を選択します。

③ [CyberTrio-NXのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されます。[ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄﾓｰﾄﾞ]を選択して[OK]ボタンをクリックします。
詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後やWindowsの設定が終了した後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

CyberTrio-NX

パソコンを使う人の利用するレベルに合わせてWindowsの操作範囲や、アクセスできるフォルダを限定するためのユーティリティです。詳しくはパソコン本体のマニュアルを参照してください。

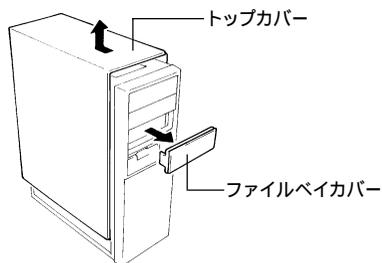
取り付け方法

取り付け例（タワー型）

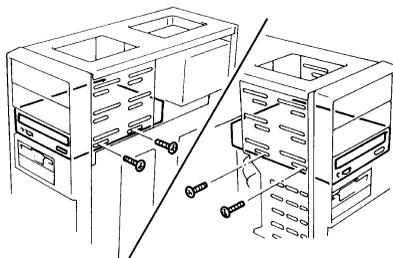
タワー型パソコンのファイルベイにDVDドライブを取り付ける場合の例です。

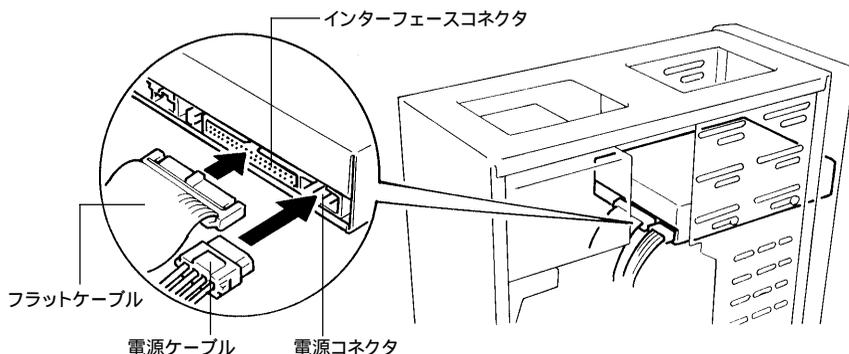
メモ パソコンによって取り付け方法が異なります。必ずパソコンメーカの定める取り付け方法に従ってください。

1 パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。パソコンのトップカバーとファイルベイカバーを外します。

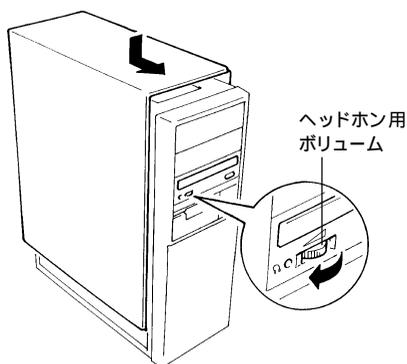
注意 **パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。**

2 DVDドライブの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。【P9「ジャンパスイッチの設定」】

3 DVDドライブをファイルベイに挿入し、付属の取り付けネジ（4本）で固定します。

注意 **ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。**

4 パソコン側のフラットケーブルと電源ケーブルをDVDドライブに接続します。

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが用意されていないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iを使用してください。
ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】
オーディオ出力端子への接続は、【P16「サウンドボードとの接続例」】を参照してください。

次のページへ続く

5 **パソコンのトップカバーを取り付け、ケーブル類や周辺機器を元どおり接続します。**

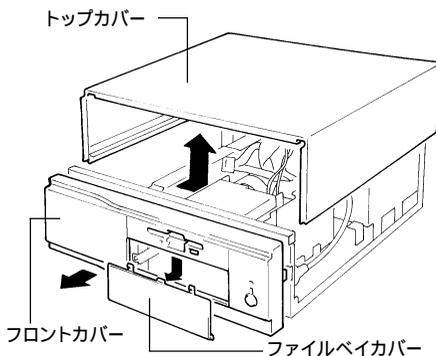
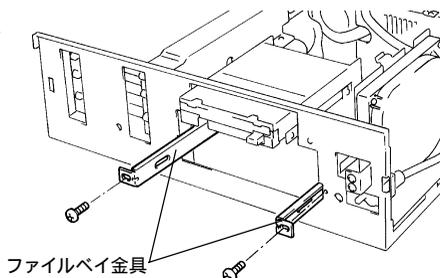
DVDドライブのヘッドホン用ボリュームを最小にします。

以上でDVDドライブの取り付けは完了です。

取り付け例（デスクトップ型）

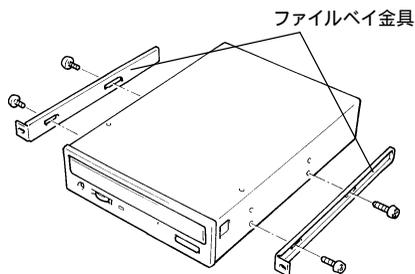
デスクトップ型パソコンのファイルベイにDVDドライブを取り付ける場合の例です。

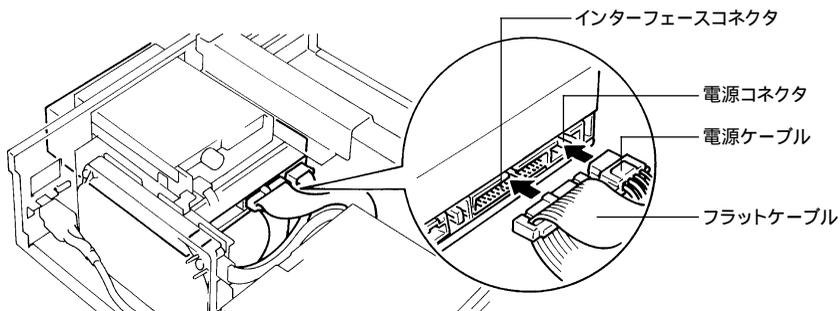
メモ パソコンによって取り付け方法が異なります。必ずパソコンメーカの定める取り付け方法に従ってください。

1 **パソコン→周辺機器の順で電源スイッチをすべてOFFにし、ケーブル類を取り外します。パソコンのトップカバーとファイルベイカバーを外します。**

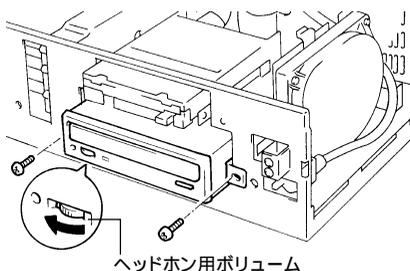
⚠注意 **パソコンおよび周辺機器の電源スイッチは必ずOFFにしておいてください。**

2 **ファイルベイ金具を固定しているネジを外し、ファイルベイ金具を引き出します。**

次のページへ続く

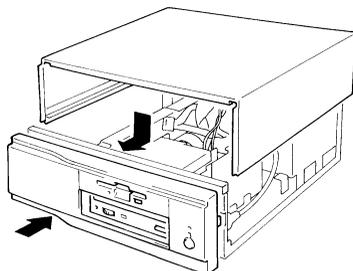
3 付属の取り付けネジ（4本）でDVDドライブにファイルベイ金具を取り付けます。

4 DVDドライブの取り付け条件に合わせて、ジャンパスイッチを設定します。【P9「ジャンパスイッチの設定」】

5 DVDドライブをファイルベイに半分ほど挿入し、パソコン側のフラットケーブルと電源ケーブルを接続します。

パソコンにIDE機器接続用のフラットケーブルが用意されていないときは、別売の弊社製IDE接続ケーブルDKV-Iを使用してください。
ジャンパスイッチの設定と、フラットケーブルの接続が正しいか確認してください。【P9】
オーディオ出力端子への接続は、【P16「サウンドボードとの接続例」】を参照してください。

6 DVDドライブを奥まで押し込み、手順 2 で外したネジで固定します。

DVDドライブのヘッドホン用ボリュームを最小にします。

⚠注意 ケーブルのはさみ込みやコネクタの抜けなどがないように注意してください。

7 パソコンのフロントカバー、トップカバーを取り付け、ケーブル類と周辺機器を元どおり接続します。

以上でDVDドライブの取り付けは完了です。

コンパック製Prolinea、DESKPROシリーズでの注意

DVDドライブをコンパック製Prolinea、DESKPROシリーズで使用する場合、パソコンの起動時に「1781:Disk 1 failure」というエラーメッセージが表示されることがあります。この場合は、次の手順でDVDドライブをセットアップし直してください。

1 パソコンの電源スイッチをOFFにします。DVDドライブのジャンパスイッチをマスタに設定し、CD-ROM専用コネクタに再度接続します。

2 パソコンの電源スイッチをONにします。メモリカウント終了後、カーソルが画面右上で点滅しているときに<F10>キーを押します。

ユーティリティが起動します。

3 [コンピュータのセットアップ（SETUP）] を選択して<Enter>キーを押します。

4 [Computer Setup PCXX.XX-J] 画面内の [記憶装置] を選択して<Enter>キーを押します。

5 [記憶装置] 画面内の [詳細設定] を選択して<Enter>キーを押します。

6 [詳細設定] 画面内の [セカンダリディスクコントローラ] の一覧から [170-177,376-377,IRQ15] を選択して<Enter>キーを押します。

7 設定が終わったら、[OK]ボタンをクリックするか<Enter>キーを押します。

8 [記憶装置] 画面に戻ったら、[OK]ボタンをクリックするか<Enter>キーを押します。

9 [Computer Setup PCXX.XX-J] 画面に戻ったら[終了]を選択し、<Enter>キーを押します。

10 [ユーティリティの終了]を選択して<Enter>キーを押します。

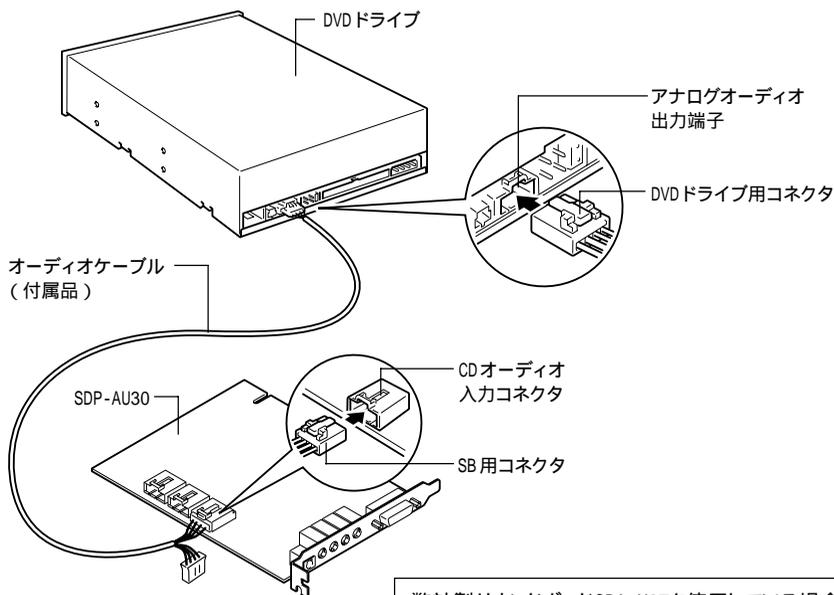
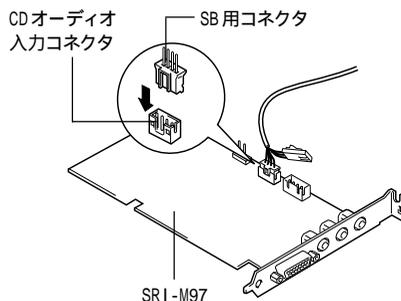
11 [プログラムを終了してください] 画面に戻ったら、[終了]を選択して<Enter>キーを押します。

サウンドボードとの接続例

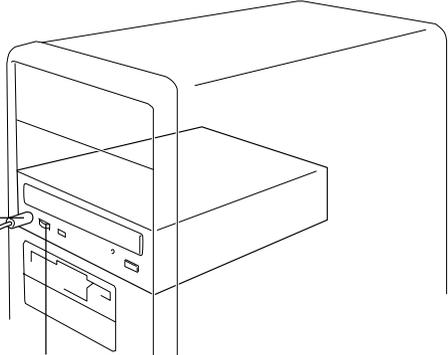
付属のオーディオケーブルでDVDドライブとサウンドボードを接続すれば、CDやDVD-ROMメディアの音声をサウンドボードに出力できます。
サウンドボードにオーディオ機器を接続してください。

※ 弊社製サウンドボードSRI-PJ/P/Fや弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に接続するときは、別売の弊社製サウンドボード用オーディオケーブルが必要です。弊社備品販売窓口にてご購入ください。【P33】

メモ オーディオケーブルのSB用コネクタは2種類あります。使用しているサウンドボードのコネクタの形状に合ったコネクタを使用してください。

下の図は、弊社製サウンドボードSDP-AU30との接続例です。

ヘッドホンの接続

DVDドライブ前面のヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。
※ヘッドホンは別途ご用意ください。

⚠注意　大きな音量で長時間ヘッドホンを使用すると、聴覚障害の原因となります。ご注意ください。

ヘッドホン用ボリューム
※ CDを再生する前に最小にしておいてください。
CDを再生し始めてから、最適な状態になるようにボリュームを調節してください。
小　大

2
取り付け

WindowsMe/98/95の設定

WindowsMe/98/95を使用している場合は、DVDドライブがDMA転送(＊)をするように設定します。

＊ CPUを介さずにアクセスする高速な転送方式

※パソコンの機種によっては、パソコン本体がDMA転送に対応していないものがあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

※ PC98-NXシリーズをお使いのときは、次の操作の前にCyberTrio-NXをアドバンストモードに変更してください。【P11「PC98-NXシリーズでの使用」】

DMA転送への設定変更手順は次のとおりです。

1 デスクトップ画面の[ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。

2 メニューが表示されたら[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)]をクリックします。

3 [ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ダイアログボックスが表示されたら、[ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ]タブをクリックします。

4 [CD-ROM]をダブルクリックします。

5 [MATSHITA DVD-ROM SR-8587]をダブルクリックします。

6 [MATSHITA DVD-ROM SR-8587のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]が表示されたら、[設定]タブをクリックします。

7 [□ DMA]をクリックしてチェックマーク(✓)を付けます。
DMA転送に対応していない機種では、[□ DMA]のチェックボックスがないかグレー表示になっています。

8 [OK]ボタンをクリックし、メッセージに従ってシステムを再起動します。

[DMA] にチェックマーク（✓）を付けます。

⚠注意 パソコンの機種によっては、DVD-ROM、CD-ROMのデータが正しく読み込めないことがあります。その場合は、DMA転送を無効にしてください。
DMA転送は、上記の手順で[□DMA]のチェックマーク(✓)を外して[OK]ボタンをクリックすることで無効にできます。

Windows2000 の設定

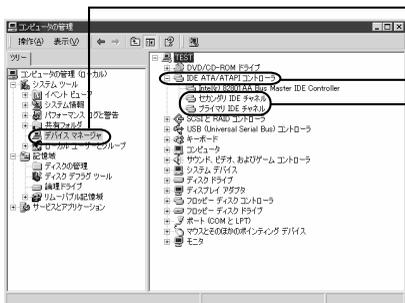
Windows2000を使用している場合は、DVDドライブがDMA転送をするように設定します。

※ パソコンの機種によっては、パソコン本体がDMA転送に対応していないものがあります。パソコンのマニュアルを参照してください。

1 **デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。**

2 **メニューが表示されたら［管理］をクリックします。**

3

① ［デバイス マネージャ］をクリックします。

② ［IDE ATA/ATAPIコントローラ］をダブルクリックします。

③ DVDドライブを接続しているチャネル（セカンダリまたはプライマリ）をダブルクリックします。

4

① ［詳細設定］タブをクリックします。

② ［転送モード(T)］の ▼ をクリックし、［DMA(利用可能な場合)］を選択します。初期状態では、［PIO モード］に設定されています。

※ **DVDドライブをマスタとして接続しているときは、［デバイス0］の設定を変更してください。スレーブとして接続しているときは、［デバイス1］の設定を変更してください。**

③ ［OK］ボタンをクリックします。

5 **メッセージに従ってシステムを再起動します。**

⚠注意 **パソコンの機種によっては、DVD-ROM、CD-ROMのデータが正しく読み込めないことがあります。その場合は、上記の［転送モード(T)］を［PIOモード］に設定してください。**

2 取り付け

WinDVD2000 のインストールと操作方法

DVD-VIDEOやVideo CDを再生するためには、本製品付属のソフトウェア「WinDVD2000」をインストールする必要があります。

メモ WinDVD2000の詳しい使いかたは、WinDVD2000のヘルプファイルを参照してください。

必要なシステム環境

WinDVD2000でなめらかに(コマ落ちすることなく)動画を再生するためには、次の環境が必要です。

CPU .... PentiumII 350MHz以上

メモリ 32MB以上

グラフィックボード .... DirectX7およびハードウェアオーバーレイに対応したボード(*)

ハードディスク容量 10MB以上の空き容量

サウンドボード .... 48KHzステレオ再生オーディオシステムに対応したボード(弊社製SDP-AU30など)

* Permedia2を搭載するグラフィックボード(弊社製WHP-PS8SLなど)には非対応です。
WindowsNT4.0の場合、グラフィックボードのドライバによってはハードウェアオーバーレイに対応していないことがあるため、動作しないことがあります。
(弊社製グラフィックボードはハードウェアオーバーレイに対応しています。)

⚠注意 WinDVD2000のReadmeファイルに記載されているのは、必要最低限の環境です。なめらかに動画を再生するためには、上記の環境が必要です。

インストール手順

※ 次の操作を行う前に、DVDドライブをパソコンに取り付けておいてください。【P12】

WindowsMe/98/95/2000 の場合

1 周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにし、Windowsを起動します。

2 WinDVD2000のCD-ROMをDVDドライブにセットします。

自動的にインストーラが起動します。インストーラが起動しない場合は、デスクトップの[マイ コンピュータ]アイコンをダブルクリックし、WinDVD2000のCD-ROMをセットしたDVDドライブのアイコンをダブルクリックします。

3 [ようこそ]画面が表示されたら、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。

4 [製品ライセンス契約]画面が表示されたら、内容をよく読んで[はい(Y)]ボタンをクリックします。

[いいえ(N)]ボタンをクリックした場合、WinDVD2000のインストールは中断されます。

5 **［ユーザの情報］画面が表示されたら、名前とシリアル番号を入力し、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。**

シリアル番号は、CD-ROMケースの表面に記載されている文字列です。

6 **［インストール先の選択］画面が表示されたら、インストールするフォルダを選択して［次へ(N)>］ボタンをクリックします。**

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

7 **［セットアップ方法］画面が表示されたら、［標準(T)］をクリックしてチェックマーク(•)を付け、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。**

8 **［プログラムフォルダの選択］画面が表示されたら、WinDVD2000を登録するするフォルダを選択して［次へ(N)>］ボタンをクリックします。**

通常は初期設定のまま変更する必要はありません。

9 **［セットアップの完了］画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。**

ファイルのコピーが開始されます。

10 **DirectX7.0をインストールするかどうかを問い合わせるメッセージが表示されたら、［はい(Y)］ボタンをクリックします。**

Windows2000など、DirectX7以降がインストールされているパソコンではこのメッセージは表示されません。

11 **「［OK］をクリックすると、コンピュータを再起動します。」というメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

パソコンが再起動します。

以上でインストールは完了です。

次のページへ続く

WindowsNT4.0の場合

1 「WindowsMe/98/95/2000の場合」の手順1〜9【P20】に従って操作します。

2 Intel社製のチップセットを搭載したパソコンをお使い場合は、画面の指示に従って新しいドライバをインストールし、パソコンを再起動します。

⚠注意 Intel社製のチップセットを搭載していないパソコンをお使い場合は、パソコンメーカまたはマザーボードメーカのインターネットホームページで新しいNT4IDEドライバを検索してインストールし、DMA転送を可能にしてください。DMA転送が可能になっていないと、DVDのパフォーマンスが大幅に損なわれます。

WinDVD2000の起動

[スタート]－[プログラム(P)]－[InterVideo WinDVD(またはインストール時に指定したフォルダ名)]－[InterVideo WinDVD]と選択します。

地域（リージョン）コードの設定

次の手順で、再生するDVD-VIDEOの地域(リージョン)コードに合わせて設定してください。

DVDドライブは、出荷時に地域(リージョン)コードが設定されていません。初めてWinDVD2000を使用するときは、必ず地域コードを設定してください。

メモ 地域(リージョン)コードは、DVD-VIDEOを再生できる地域を限定するためのものです。DVDドライブの地域コードとDVD-VIDEOの地域コードが合わないと再生できません。

1 WinDVD2000を起動します。【P22】

2 プレイヤー画面の （プロパティ）ボタンをクリックします。

3

① 再生するDVD-VIDEOに合わせて地域コードを選択します。
※ 日本国内向けに製造されたDVD-VIDEOを再生するときは、[2.西ﾖｰﾛｯﾊﾟ、日本、南ｱﾌﾘｶ(W)]を選択します。

② [適用(A)] ボタンをクリックします。

以上で地域(リージョン)コードの設定は完了です。

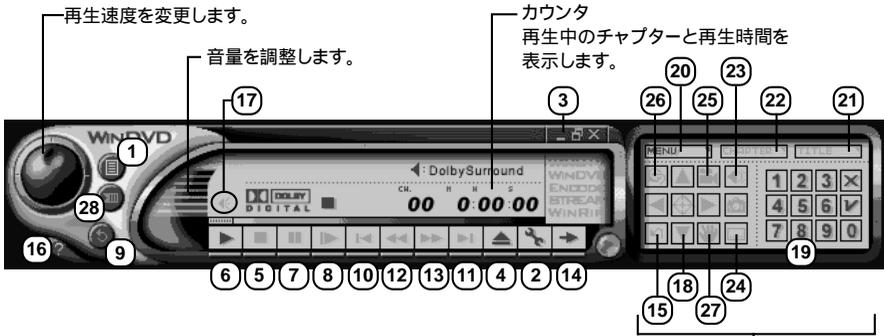
最初に設定した地域(リージョン)コードは上記の手順で変更できます。

⚠注意 変更できる回数は4回までです。5回以上は変更できません。

WinDVD2000の使いかた

WinDVD2000の基本的な操作方法を説明します。

メモ 詳しい操作方法はWinDVD2000のヘルプを参照してください。ヘルプは[スタート]－[プログラム(P)]－[InterVideo WinDVD(またはインストール時に指定したフォルダ名)]－[InterVideo WinDVD ヘルプ]と選択すると、表示されます。

＜プレイヤー画面＞

(1) [プレイリスト...]ボタン .... プレイリストウィンドウを表示します。

(2) [プロパティ...]ボタン .... プロパティウィンドウを表示します。

(3) .... WinDVD2000のウィンドウを最小化、最大化したり、閉じたりできます。

(4) [イジェクト]ボタン .... DVDドライブのトレーを排出します。

(5) [停止]ボタン .... 再生を停止します。

(6) [再生]ボタン .... 再生を開始します。

(7) [ポーズ]ボタン .... 再生を一時停止します。

(8) [ステップ再生]ボタン .... 一時停止中にクリックすると、1コマ進みます。

(9) [リピート]ボタン .... 現在のタイトルまたはチャプターを繰り返し再生します。

(10) [前のチャプター]ボタン .... 前のチャプターにジャンプします。

(11) [次のチャプター]ボタン .... 次のチャプターにジャンプします。

(12) [早戻し]ボタン .... 早戻しで再生します。

(13) [早送り]ボタン .... 早送りで再生します。

(14) [拡張コントローラ]ボタン .... 拡張コントローラを開いて追加機能の操作画面を表示します。

次のページへ続く

(15) .... メニュー画面からビデオの再生を続行します。

(16) [ヘルプ] ボタン .... ヘルプを表示します。

(17) .... チェックすると、音声をミュート（消音）します。

(18) [矢印] キー .... メニューのコントロールなどナビゲーションに使用します。上下左右の矢印で、メニューを選択し、中央のボタンで確定します。
※メニューを直接クリックして操作することも可能です。

(19) [数字] キー .... 数字を選択する場合に使用します。再生中に数字を入力することでチャプターを直接選択することもできます。選択したい数字をクリックし、右端の矢印ボタンをクリックします。

(20) MENU .... 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのメニュー（ルートメニュー、オーディオメニュー、サブタイトルメニューなど）を表示します。表示したいメニューを選択してください。

(21) TITLE .... 再生中のDVDタイトルで選択可能な全てのタイトルを表示します。再生したいタイトルを選択してください。

(22) CHAPTER .... 再生中のDVDタイトルの全てのチャプターを表示します。現在再生中のチャプターにはチェックがついています。リストの中から再生したいチャプターを選択することもできます。

(23) .... 再生中のDVDタイトルがマルチオーディオをサポートしている場合、再生するオーディオを選択するメニューを開きます。リストの中から再生したいオーディオを選択してください。

(24) .... 再生中のDVDタイトルがサブタイトル（字幕表示）をサポートしている場合、サブタイトルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいサブタイトルを選択してください。

(25) .... 再生中のDVDタイトルがマルチアングルをサポートしている場合、アングルを選択するメニューを開きます。リストの中から表示したいアングルを選択してください。

(26) .... カーソルで選択したエリアを拡大表示・再生します。拡大表示中に画面をクリックすると、元のサイズに戻ります。

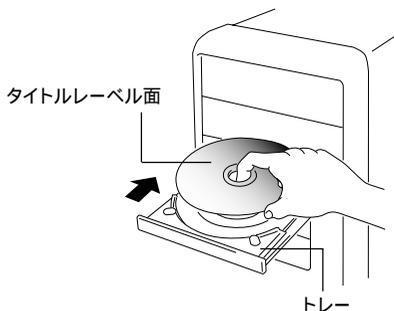
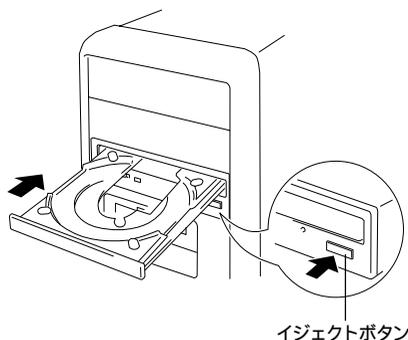
(27) .... パン（移動）して表示する領域を変更します。

(28) .... ビデオタイトルごとにブックマーク（しおり）の位置を記録できます。好きなシーンや、途中で見るのをやめるときにブックマークを記録しておくと、次にそのタイトルを挿入したときに自動的にブックマークがロードされますので、好きな位置を選択して再生を再開することができます。

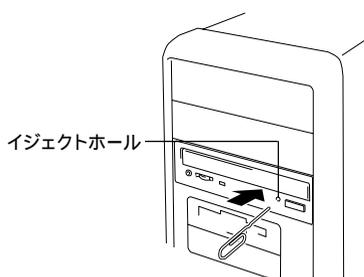
3 使いかた

DVD ドライブの基本的な操作方法を説明しています。

使いかた

● メディアをセットする
イジェクトボタンを押してトレーを出します。
タイトルレーベル面を上に向けて、トレーにセットします。
トレーを軽く押して元に戻します。

● メディアを取り出す
イジェクトボタンを押すと、トレーが排出されます。
メディアを取り出したら、トレーを軽く押して元に戻します。
WinDVD2000の操作でもトレーを排出できます。

● トレーが排出されないとき
停電などによって、メディアを入れたままの状態で電源が切れてしまうと、トレーが排出されなくなってしまいます。その場合は、イジェクトホールにゼムクリップを伸ばした物などを差し込んで、強制的にトレーを排出します。

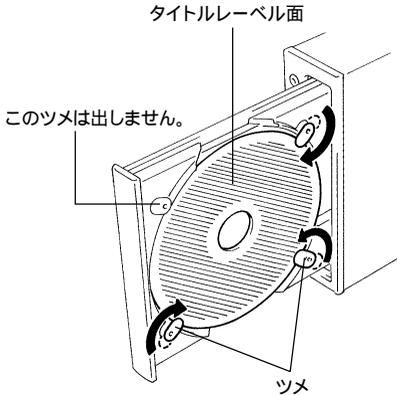
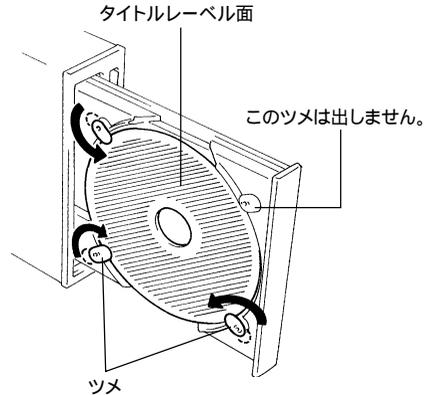
⚠注意 **この操作は、パソコン本体の電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後はDVDドライブ内でメディアが回転しているため、強制的に排出すると、メディアを破損するおそれがあります。**

3 使いかた

次のページへ続く

● DVDドライブを縦置き（垂直）にしてパソコンに取り付けた場合

トレー下側のツメ2箇所と上側奥のツメ1箇所を、180°回転させてツメを出します。メディアは、タイトルレーベル面をトレーの反対側に向け、3箇所のツメに引っかかるようにセットします。

⚠注意 必ず図のように3箇所のツメで固定してください。また8cmCD（シングルCD）を使用するときは、市販の8cmCD用アダプタをCDに取り付け、アダプタを3箇所のツメに引っかけてセットしてください。ツメに引っかかっていないと、DVDドライブ内でメディアが外れて故障や破損の原因となります。

困ったときは

DVDドライブを使用していてトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

現象と対処方法

主なトラブルと対処方法について説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

DMA転送が有効にならない（WindowsMe/98/95）

DMA転送を有効にする設定【P18「WindowsMe/98/95の設定」】をした後でパソコンを再起動すると、設定が元に戻ってしまう（DMA転送が有効にならない）ことがあります。次の手順で再設定してください。

1 P18の手順 1 ～ 4 の操作を行います。

2 [MATSHITA DVD-ROM SR-8587]をクリックし、[削除(E)]ボタンをクリックします。

3 [デバイス削除の確認]ウィンドウが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

4 [閉じる]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。

5 P18を参照し、DMA転送を有効にする設定を再度行ってください。

DVD-ROM、CD-ROMが正常に読み込めない

パソコンの機種によっては、DMA転送が有効になっていると、DVD-ROM、CD-ROMのデータが正しく読み込めないことがあります。その場合は、次のページを参照して設定を変更してください。

- WindowsMe/98/95　　DMA転送を無効にしてください。【P18】
- Windows2000　　転送モードをPIOモードにしてください。【P19】

パソコンの電源スイッチをONにしても電源が入らない

電源ケーブルが正しく接続されていない	パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、電源ケーブルがDVDドライブの電源コネクタに正しく接続されているか確認してください。【P12「取り付け方法」】

アクセスランプが点灯しない

メディアがトレーに正しくセットされていない	イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。【P25「使いかた」】
インターフェースケーブルが正しく接続されていない	パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、インターフェースケーブルがDVDドライブのインターフェースコネクタに正しく接続されているか確認してください。【P12「取り付け方法」】

イジェクトボタンを押してもトレーが排出されない

パソコンの電源が入っていない	パソコンの電源スイッチがONになっているか、パソコンの電源ケーブルはACコンセントに正しく接続されているか確認してください。
トレーに何か引っかかっている	トレーを確認してください。

メディアが入らない

メディアがトレーに正しくセットされていない	メディアを正しくセットし直してください。【P25「使いかた」】

パソコンが起動しない

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている	フロッピーディスクを取り出して、パソコンを再起動してください。

DVD-ROM メディア、CD が使用できない

非対応のメディアを使用している	【P7「特長」】を参照して、使用可能なメディアの種類を確認してください。
正しいドライブにアクセスしていない	データを読み出すときは、CD-ROMドライブのアイコンを開いてください。

音楽 CD の音声が出力されない

メディアがトレーに正しくセットされていない	イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。【P25「使いかた」】
メディアの不良	メディアに傷、汚れ、変形がないか確認してください。
DVDドライブとサウンドボードが正しく接続されていない	DVDドライブに接続したヘッドホンから音声が出力されているのに、サウンドボードに接続したオーディオ機器から音声が出力されない場合は、DVDドライブとサウンドボードが正しく接続されているか確認してください。【P16「サウンドボードとの接続例」】
オーディオ機器が正しく接続されていない	DVDドライブに接続したサウンドボードにオーディオ機器が正しく接続されているか確認してください。【各サウンドボードのマニュアル】

DVD ドライブが認識されない（Windows95 再セットアップ時）

起動ディスクの内容を変更していない	DVDドライブを使用してWindows95を再セットアップするときは、起動ディスクの内容を変更する必要があります。【P29「Windows95の再セットアップ」】

5 付録

Windows95の再セットアップ

Windows95を再セットアップするときは、DVDドライブを認識させるために、起動ディスクの内容を変更する必要があります。

パソコンに付属の起動ディスクを使用する場合とWindows95上で作成した起動ディスクを使用する場合とで、変更手順が異なります。

※ WindowsMe/98の場合は、パソコンに付属の起動ディスク、WindowsMe/98上で作成した起動ディスクともにDVDドライブを認識できます。特別な設定は必要ありません。

※ WindowsNT4.0およびWindows2000の場合は、WindowsNT4.0またはWindows2000のCD-ROMおよびCD-ROMから作成した起動ディスクともにDVDドライブを認識できます。特別な設定は必要ありません。

パソコンに付属の起動ディスクを使用する場合

⚠注意 起動ディスクのバックアップディスクを必ず作成してください。以下の操作では起動ディスクの内容を変更します。オリジナルのディスクは大切に保管し、以下の操作にはバックアップディスクを使用してください。

1 DVDドライブ付属の「DVD-ROM16FBドライバディスク」内にあるファイル「MELCDU.EXE」を、起動ディスクにコピーします。

2 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、起動ディスク内のCONFIG.SYSファイルとAUTOEXEC.BATファイルを次のように書き換えます。

（網掛け）部分が追加する記述です。

・CONFIG.SYS

＜修正前＞

```
DEVICE=A:\xxxx.SYS /D:xx_xxx
```

（xxxx.SYS /D:xx_xxx）CD-ROMドライブ（DVDドライブ）によって、CD-ROMドライバのファイル名やデバイス名は異なります。

＜修正後＞

```
REM  DEVICE=A:\xxxx.SYS /D:xx_xxx
DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001
```

（REM）追加します。「REM」の後ろに半角スペースを入力してください。（標準のCD-ROMドライバを無効にします）

（DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001）行を追加します。（DVDドライブのドライバを有効にします）

5 付録

次のページへ続く

・AUTOEXEC.BAT

＜修正前＞

A:\MSCDEX.EXE /D:xx_xxx /L:Q

ドライブがQとして割り当てられている場合の例です。

＜修正後＞

REM A:\MSCDEX.EXE /D:xx_xxx /L:Q

追加します。「REM」の後ろに半角スペースを入力してください。

A:\MSCDEX.EXE /D:MELCD001 /L:Q

修正前と同じドライブ名を割り当ててください。

行を追加します。
（DVDドライブをドライブとして登録します。）

3 変更した起動ディスクでWindows95を再セットアップします。

Windows95 上で作成した起動ディスクを使用する場合

1 Windows95上で起動ディスクを作成します。

作成方法は、Windows95のマニュアルまたはヘルプを参照してください。

2 DVDドライブ付属の「DVD-ROM16FBドライバディスク」内にあるファイル「MELCDU.EXE」を、起動ディスクにコピーします。

3 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、起動ディスク内のCONFIG.SYSファイルに次の行を追加します。

```
DEVICE=A:\MELCDU.EXE /A /D:MELCD001
LASTDRIVE=Z
```

4 C:\WINDOWS\COMMANDフォルダ内のMSCDEX.EXEファイルを起動ディスクにコピーします。

下線部は、Windows95のインストールされているドライブのドライブ名です。

5 Windows95のメモ帳やDOSのEDIT.EXEなどのエディタを使用して、次のように入力します。

```
A:\MSCDEX.EXE /D:MELCD001
```

6 入力したら、起動ディスク内にAUTOEXEC.BATファイルとして保存します。

7 変更した起動ディスクでWindows95を再セットアップします。

製品仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

対応インターフェース		ATAPI
最大データ転送速度(*1)	サステンド	・DVD-ROM　22160KB/sec（16倍速） ・CD-ROM　7200KB/sec（48倍速）
	バーストDMA	33.3MB/sec（Ultra DMA 33）
データバッファサイズ		256KB
平均アクセスタイム		・DVD-ROM　105msec ・CD-ROM　90msec
動作電圧		5V±5%　12V±5%
消費電力		平均：11.8W　最大：24.6W
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	5～90%（結露無きこと）
重量		915g
サイズ		146(W)×42(H)×190(D)mm（フロントベゼルを除く）
対応パソコン		IDEインターフェースおよび5インチベイを搭載する次のパソコン ・DOS/V機(OADG仕様)　・NEC PC98-NXシリーズ
対応OS		WindowsMe/98、Windows2000 Windows95(4.00.950 B/4.00.950 C)(*2) WindowsNT4.0(Service Pack4以降)
リード対応メディア		・DVD-ROM(片面1層、片面2層、両面1層) ・DVD-VIDEO(片面1層、片面2層、両面1層) ・DVD-R3.95GB　DVD-RAM TYPE2片面2.6GB/4.7GB(*3) ・CD-ROM Mode1 ・音楽CD(CD-DA)　・CD-ROM XA Mode2(Form1、Form2) ・CD TEXT(*4)　・Photo CD(*4)　・Video CD　・CD Extra ・CD-R　・CD-RW

*1　DMA転送が使用できない機種の場合は、上記の転送速度は出ません。その場合の最大転送速度はお使いのパソコン環境によって異なります。

*2　本製品はWindows95(4.00.950/4.00.950a)では使用できません。Windows95のバージョンは次の手順で確認できます。
　① ［ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］アイコンを右クリックします。
　② 表示されたメニューから［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)］をクリックします。
　③ ［ｼｽﾃﾑ:］にWindows95のバージョンが表示されます。

*3　ディスクが取り出し可能なもの。

*4　再生には、対応したソフトウェアが必要です。

5 付録

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■備品販売窓口

・インターネット .. http://buffalo.melcoinc.co.jp/bihin/index.html
　※ ホームページに記載の手順でお申し込みください。

・郵送 .... 〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 備品販売窓口
　※ 希望する備品名、ご購入の製品名(シリアルNoも必要)、送付先住所、氏名、連絡先をお書き添えください。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても症状が改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ（本書裏表紙参照）にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
　［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
　［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ　修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター（裏表紙に記載）へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスク内のデータは検査の際に削除いたします。また、ドライブユニットが故障の場合、同等のドライブユニットと交換させていただきます。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

DVD-ROM16FB ユーザーズマニュアル

2001年1月23日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）